

6月の星空まっぷ

【6月中旬、午後8時頃に見える星空】
 気候変動と言う言葉が、どうも耳に引っかかるのう。今年の梅雨はどんな風になるか気掛りじや。とは言え、梅雨の晴れ間を大事に星空を見上げようではないか！

はい！梅雨の晴れ間の星探しね？
 なかなか難しそう！ホミリー、頑張って星空を見てみるね！星じい、どんな星たちが見えるの？

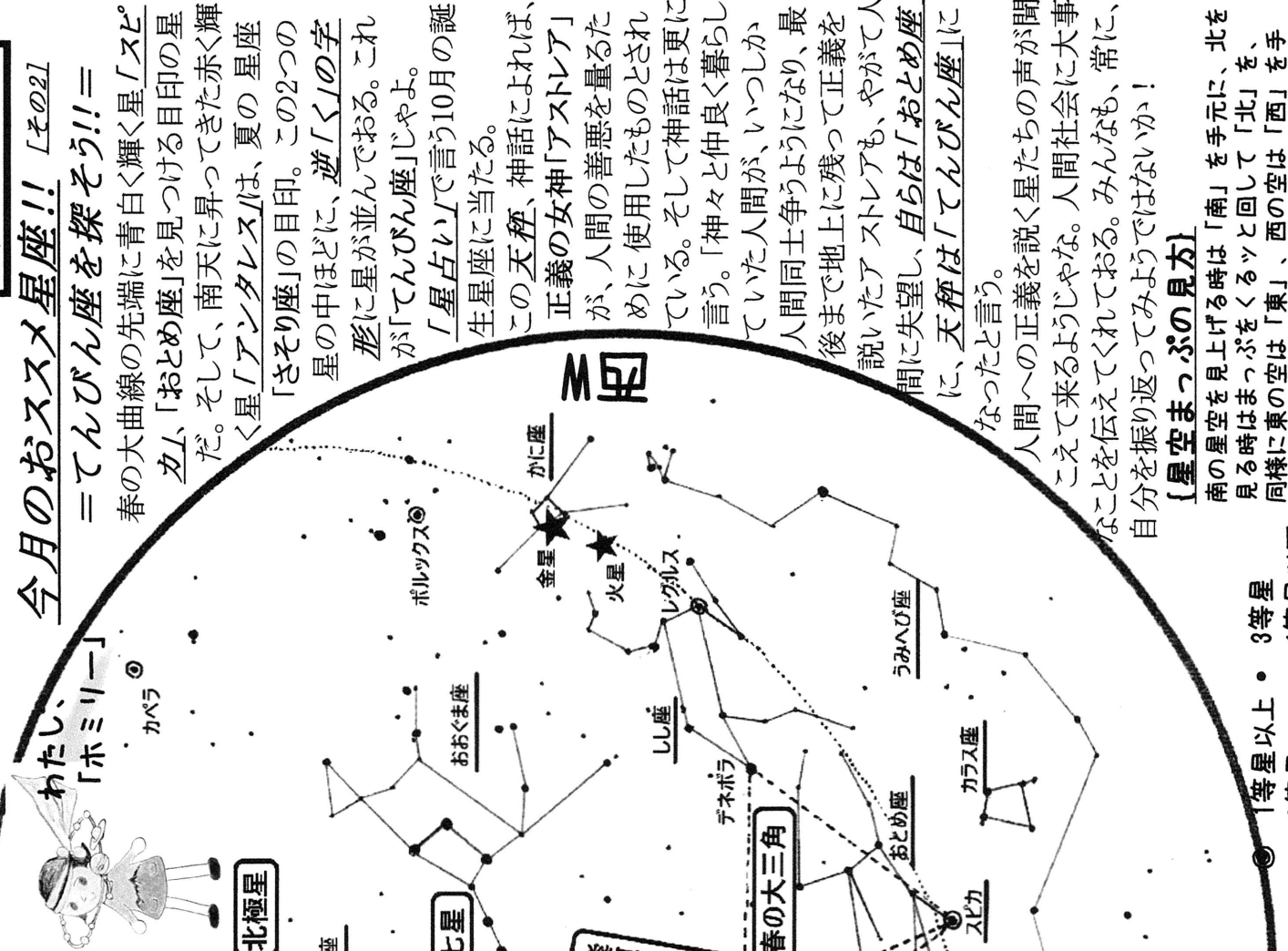
今月のおススメ星座！！

＝「かんむり座」を探そう＝
 ほぼ真上を見よう。春の星空に結ばれた「春の大曲線」や「春の大三角」の星たちが見えておる。その大曲線の東側（左側）に、まあるく半円形に並んだ星並びが分かるかな？これが「かんむり座」じや。ギリシア神話では、酒の神「デイオニュロス」が、クレタ島の王女「アリアドネ」に贈った7つの宝石をちりばめた美しい冠とされておる。神話曰く、絶望から一転、王女アリアドネがつかんだ幸せへの切符、それがこの冠じやよ。

＝ししの頭に冠があつたら…＝
 春の星座しし座が西の空に傾きを増している。「ししの大鎌」で呼ばれる星並びが目印だが、もう一つししの頭に「かんむり」を載せて見たらどうだろう。正に百獣の王たるライオンにふさわしい姿になるのではないか？そして胸に輝く1等星レグルスが、シリウスのような輝きを持って、百獣の王ライオンが星空に君臨する…。こんな想像してみたら面白いかも？

N77

南S



2023.6
 星爺 (ほじい)

今月のおススメ星座！！

＝てんびん座を探そう！！＝
 春の大曲線の先端に青白く輝く星「スピカ」も、「おとめ座」を見つけて目印の星だ。そして、南天に昇ってきた赤く輝く星「アンタレス」は、夏の星座「さそり座」の目印。この2つの星の中ほどに、逆「く」の字形に星が並んでおる。これが「てんびん座」じやよ。

「星占い」で言う10月の誕生星座に当たる。
 この天程、神話によれば、正義の女神「アステア」が、人間の善悪を量るために使用したものとされている。そして神話は更に言う。「神々と仲良く暮らしていた人間が、いつしか人間同士争うようになり、最後まで地上に残って正義を説いたアステアも、やがて人間に失望し、自らは「おとめ座」に、天程は「てんびん座」になつたと言う。

人間への正義を説く星たちの声が聞こえて来るようじやな。人間社会に大事なことを伝えてくれておる。みんなも、常に自分を振り返ってみようではないか！

【星空まっぷの見方】

南の星空を見上げる時は「南」を手元に、北を見る時はまっぷをくるりと回して「北」を、同様に東の空は「東」、西の空は「西」を手元にもってきて、頭の上に掲げて見上げてね！

- 1等星以上
- 3等星
- 2等星
- 4等星以下

【黄道】
 天空の星座のあいだを移動する太陽の見かけ上の通り道